

【 無料ダウンロード資料 】

なぜ社労士試験はこんなにも難しいのか？合格率の低さの秘密に迫る

※4分ほどで読めます

今回は、多くの方が気になる社労士試験の「難易度」をお伝えします。※あくまでも、私の個人的な見解であること、ご了承願います。

社労士試験は、国家資格で独占業務が法律で定められ、独立開業もできる人気国家資格です。

そのため、取得したいと思っている方は多いですが、試験の合格率も低く難易度が高く、チャレンジする1歩を踏み出せない方が多いのではないのでしょうか？

当資料では、私が合格して感じた社労士試験の「**本当の難易度**」をお伝えします。

社労士試験 本当の難易度について

社労士試験の過去における合格率です。

| | |
|--------|------|
| 令和4年度 | 5.3% |
| 令和3年度 | 7.9% |
| 令和2年度 | 6.4% |
| 平成元年度 | 6.6% |
| 平成30年度 | 6.3% |
| 平成29年度 | 6.8% |
| 平成28年度 | 4.4% |

100人受けて、合格するのは「5人前後」
という結果になっています。

だれが見ても、難しい、合格できない、私には無理、このように「はじめる前」から諦めるレベルに感じると思います。

この合格率を見て、よし！行けそうだから、
今すぐチャレンジするとすぐに考える人、はた
してどの位いるのかな？

社労士試験は合格率だけ見ると、難易度が高
い試験と思うし、また、実際に難しいです。こ
れは、まちがいない。

だけど、社労士試験の難易度を高く
しているのは、出題形式の1つであ
る「選択式」だと、私は思っています。

社労士試験は、選択式と択一式の2つの試験
形式になっています。

そのうち、1つの試験形式である「選択式」
難易度を格段に高めている要因になっています。

そもそも、社労士試験は努力を積み重ねれば決して合格できない試験ではなく、下記のことを意識すれば、合格も夢ではありません。

社労士試験に合格するポイントは、

- ・テキストは頻出箇所は精読する、その他の箇所は流し読み程度
- ・過去問を5回以上は反復学習（頻出箇所は10回以上繰り返す）
- ・テキストと過去問は『1つ』に絞って徹底的にやること！

※ 参考として、私が実践したことです。

上記のように、勉強をしっかりと積み重ねた受験生なら、合格ラインに到達できます！

しかし、先ほどお伝えした「選択式」が合格できる実力者たちが「1点の壁」で不合格になってしまいます。

特に、一般常識として出題される「選択式の
労一」など、勉強したことがない範囲から出題
され、基準点未達になり不合格です。

例年、**選択式は合否を分ける科目が1～2科
目はある**ので、難問となる選択式問題をクリア
できるかどうか、ここで実力ある多くの受験生
が不合格になっています。

**だから、社労士試験は問題のすべてが「難し
い」**わけではなく、基本知識で解ける問題も多
くあり、基本知識がしっかり固めれば、合格ラ
インまで十分に到達できます。

この点を理解すると、社労士試験にチャレン
ジしようと思う受験生が多くなるはずです。

当資料を読んで、試験勉強をはじめることが
できたとなれば、すごくうれしいです。

社労士試験の難易度について、もっと知りたい方は、下記の記事で具体的に書いているので、ぜひご覧ください。



参考記事はこちら

クリック→[【社労士試験難易度！】社労士試験が難しい | 合格率が低い本当の理由](#)

しゃろうむ